応募事団体名（　　　　　　　　　　　　　　）

**申 請 書 類 チ ェ ッ ク シ ー ト**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者ﾁｪｯｸ欄 | 申　　請　　書　　類 | 提出部数 | 事務局ﾁｪｯｸ欄(※１) |
| □ | 応募申請書 | （様式１） | １部 | □ |
| □ | 女性の就農環境改善計画 | （様式２） | １部 | □ |
| □ | 応募団体の概要に関する資料（定款、パンフレット、規約）、財務諸表等団体の運営についてわかる資料、経費積算が確認できる資料等 | １部 | □ |

（

１　本紙は、応募１件ごとに１枚作成してください。

２　事務局チェック欄（※１）には記入しないでください。

（様式１）

申請書作成にあたっての記入例を赤字で記載しています。

申請書作成時に削除してください。

　　令和５年　〇月　　〇日作成

|  |
| --- |
| 受付番号 |
|  |

応　募　申　請　書

|  |
| --- |
| **事　業　実　施　概　要** |

|  |  |
| --- | --- |
| 応募事業名 | 新規就農者確保緊急対策のうち女性の就農環境改善支援事業 |
| 応募団体名 | ○○株式会社 | 補助金申請額 | 3,000,000円 |

**１．取組（メニュー）の別**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施するメニュー（該当に○） | 第４の（１）（施設等確保の取組） | 〇 |
| 第４の（２）（グループの新たな取組） |  |

**２．施設等の整備状況（第４の（１）（施設等確保の取組）の応募事業者のみ）**

「本事業において確保しようとする施設等」の欄については、①～⑥のうち該当するものに〇を付けてください。「現在の確保状況」の欄については、「本事業において確保しようとする施設等」の欄で〇をつけた施設等に対応する箇所においてのみ〇をしてください。

|  |  |
| --- | --- |
| **本事業において****確保しようとする施設等****※⑤及び⑥は、名称を記入ください。** | **現在の整備状況** |
| ①託児スペース |  | 託児スペースを整備していない |  |
| 託児スペースを整備している |  |
| ②男女別トイレ |  | 男女別トイレを整備していない　①確保予定場所及び周辺にトイレがない |  |
| 　②確保予定場所及び周辺に男女兼用トイレがあるが、男女別ではない。 |  |
| 　③確保予定場所及び周辺に男女別トイレ・女性専用トイレを整備しているが、アクセスに時間を要する。 | アクセスに要する時間（徒歩　　分） |
| 男女別トイレを整備している |  |
| ③更衣室 |  | 整備していない |  |
| 男女兼用の更衣室を整備している |  |
| ④休憩スペース |  | 女性専用の更衣室を整備している |  |
| 休憩スペースがない |  |
| ⑤アシストスーツ、高さが調整できる作業台等の備品確保（名称：　　　　　　　　） |  | 休憩スペースがすでにある |  |
| ない |  |
| ⑥その他（名称：　　　　　　　　） |  | ある |  |
|  | ない |  |

**３．支援対象者**

「施設等確保の取組」への応募団体は、確保する施設等を利用する応募団体に属する女性農業者の氏名および所属（例：大豆生産部門）を記載してください（５名以上）。

　　「グループの新たな取組」への応募団体は、応募団体に属する構成員について５名以上の農業者（女性１名以上を含む）の氏名、性別及び所属を記載してください。

|  |
| --- |
| ・○○○○　（トマト生産管理部門）・○○○○　（トマト生産管理部門）・○○○○　（トマト生産管理部門）・○○○○　（トマト生産管理部門）・○○○○　（トマト生産管理部門） |

**４．事業実施体制**

|  |  |
| --- | --- |
| 　都道府県 （市町村） | ○○都道府県（○○市町村） |
| 代表者※協議会の場合 | フリガナ氏名所属部署職名所属先住所等〒・住所TELFAXメールアドレス | ○○○〇〒 |
| 事務局連絡先 | フリガナ氏名所属部署職名所属先住所等〒・住所TELFAXメールアドレス | ○○○〇〒 |
| 会計担当者 | フリガナ氏名所属部署職名所属先住所等〒・住所TELFAXメールアドレス | ○○○〇〒 |

専門的な知見の有無や地域との関係性、関係機関との連携状況等、追記事項がありましたら、ご記入ください。

【専門的な知見の有無】

・会計担当の○○は○○の資格を有し、○○の業務経験がある。

・令和〇年度○○事業を実施

【地域との関係性、関係機関との連携状況等】

・市町村と連携し地域の農家との就農環境に関する情報交換会を定期的に開催

・専門家（社労士）へ定着に向けた社内支援を相談

※女性の就農環境改善計画（様式２）の２との整合を図って記載

**５．確保する施設等の管理方針（第４の（１）「施設等確保の取組」のみ）**

|  |
| --- |
| ・部門長である○○が施設等の利用状況等を確認し、毎日の清掃及び点検等にあたる。 |

* 誰がどのように施設等を管理するのか記載】

**６．本事業を活用することにより期待される効果**

|  |
| --- |
| 本事業を実施し、男女別トイレを確保することにより、以下の効果が期待される。・求人広告及び就農相談会への出展において男女別トイレを含めた働きやすい環境をアピールし、女性の人材を新たに確保する。・現在のフレックスタイム制等の制度に加えて、○○○の取組を導入することにより、現在働いている女性従業員がさらに働きやすい環境を整備する予定であり、これにより、毎年○○が理由で離職していた女性が少なくなる。 |

Ⅰ　経費の配分及び負担区分　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 総事業費（A）＋（B）＋（C） | 負担区分 | 備考 |
| 国庫補助金（A） | 市町村負担額（B） | その他（C） |
| 女性の就農環境改善支援事業費補助金（令和５年度） | 3,300,000 | 3,000,000 | 0 | 300,000 | 減額した金額：300,000円 |
| 合　計 | 0 | 0 |  |  |  |

(注）備考欄には、消費税について、消費税仕入控除税額を減額した場合には、「減額した金額○○○円」を、同税額がない場合は「該当なし」を、同税額が明らかでない場合には、「含税額」をそれぞれ記入すること。

Ⅱ　収支予算

１　収入の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 備考 |
| 増 | 減 |
| 国庫補助金市町村負担額その他合計 | 3,000,000300,0003,300,000 |  | 3,000,000300,0003,300,000 |  |  |

２　支出の部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 備考 |
| 増 | 減 |
| 女性の就農環境改善支援事業費補助金（令和５年度） | 3,300,000 |  | 3,300,000 |  |  |
| 合　計 | 3,300,000 |  | 3,300,000 |  |  |

事業実施経費

（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　　　目 | 事業費 | 経費の必要性と当該事業との関連性 |
|  | うち国庫補助金 |
| 消　耗　品　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 旅　　　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 謝　　　金 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 技　能　者　給 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 賃　　　金 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 役　務　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 委　託　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 専門委員等設置費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 備　品　費 | 3,300,000円 | 3,000,000円 |  |
| （内　訳） | 男女別トイレ備品一式3,300,000円 | 3,000,000 | 公募要領第４の（１）の取組 |
| 会　議　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 印　刷　製　本　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 通　信　運　搬　費 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 使用料及び賃借料 | 円 | 円 |  |
| （内　訳） |  |  |  |
| 合　　　計 | 3,300,000円 | 3,000,000円 |  |

（注）１．各費目の計上に際しては、別に定める「補助対象経費」を参考とすること。

２．「内訳」欄は、各費目の使途がわかるように記入すること。

３．「事業費」欄は、補助金申請額が本事業に要する事業費を下回る場合（地区取組主体の自己負担がある場合）には、「うち国庫補助金」欄に補助金申請額を記入すること。

４．「合計」欄には、各費目の合計額及び補助金申請額を記入すること。

５．その他事業実施主体が必要と認める資料を添付すること。

６．第４の（１）及び（２）の取組両方に応募する応募団体においては、取組ごとに事業実施経費を記載すること。

# （様式２）

令和〇年〇月〇日

**女性の就農環境改善計画**

（令和４年度女性の就農環境改善支援事業）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施するメニュー（該当に○） | 第４の（１）（施設等確保の取組） | 〇 |
| 第４の（２）（グループの新たな取組） |  |

１　地域取組主体の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | ○○株式会社 |
| 所在地 | ○○県○○市○○ |
| 代表者 | 農林　太郎 |
| 主な組織の事業内容（注） | ・事業内容：トマト等の生産及び加工・販売・従業員数：30名（うち女性15名）・経営規模：〇ha（品目：露地キャベツ〇ha、施設トマト○○ha）・農業関連事業：加工品の販売、農家レストランの経営・離職率の低下を狙いとした既存の取組フレックスタイム制、出産・育児休暇 | 女性農業者の人数：15人 |

（注）主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

２ 事業実施体制

|  |
| --- |
| ○○専門家・フレックスタイム制導入に向けた相談○○株式会社・女性が働きやすい環境の整備を実施・環境の整備を踏まえた求人、市町村への情報提供など○○市町村・地域の農業者との情報交換会 |

（注）実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

３　女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための取組計画（実績）

（１）地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

|  |
| --- |
| 【社会情勢等を踏まえた地域の女性農業者の課題】・トマト生産面積の拡大に向けて、積極的に女性の雇用を増やしていきたい考え。　・一方で、地域では○○市町村及びJA○○が主導して、トマトの産地形成に向けて生産振興を行っているが、近年の資材価格の高騰や生育不順等による減収によって、離農者が増えている状況。また、当社においても時給を含めた労働環境の整備へ投資することが難しく、女性の確保が難しい状況。【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性（既存の施設等の利用状況を含む）】　・女性従業員15名のうち、５名が生産部門（施設トマトの生産）に従事。　・ハウス横に男女兼用トイレを設置しているが、女性従業員からは、「プライベートが確保できずトイレを利用しづらい」といった声が多数。・生産部門において雇用を拡大していくにあたり、ハウス横の男女別トイレの確保が必要。【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】　・女性の雇用を確保し、定着させていくためには、本事業で取り組む男女別トイレの確保を含めた、他産業においては当たり前の働きやすい環境の整備を進めていく必要。 |

（注）（２）、（３）の取組に係る具体的な課題を記載する。

（２）女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保にかかる計画（実績）

|  |  |
| --- | --- |
| 確保する施設等の区分 | ①託児スペース　②男女別トイレ　③更衣室　④休憩スペース　⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保　⑥その他 |
| 区分番号（注1） | 時期 | 確保場所 | 数量 | 利用する女性農業者（注2）の人数 | 事業費（千円） |  | 備考 |
| 国庫補助金 |
| ②男女別トイレ | R5.3 | トマト用園芸ハウス（300㎡）横 | １ | ５ | 3,300 | 3,000 |  |
| 計 | １ | ５ | 3,000 | 3,000 |  |

　（注1）「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、確保する施設等の名称も記載すること。

　（注2）農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の者とする。

　　　　農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。（３）において同じ。

　（注3）必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

（３）女性農業者グループの立ち上げ、グループ活動の開始又は発展のための新たな取組にかかる計画（実績）

|  |  |
| --- | --- |
| 取組区分 | ①商品等開発　②先進地視察　③会員募集・農業体験の受入等にかかる取組　④研修会　⑤マルシェ開催に向けた取組　⑥その他 |
| 区分番号（注1） | 時期 | 内容 | 実施回数 | 参加する女性農業者の人数 | 事業費（千円） |  | 備考 |
| 国庫補助金 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |

　（注1）「取組区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。

　（注2）必要に応じて項目を変えずに行を追加すること。

４ 本事業を活用した取組計画（注）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時期 | 取組内容・回数 | 備考 |
| 〇月〇月〇月〇月〇月 | 【女性の農業への呼び込み・定着・活躍のための応募団体における取組（既存の取組を含む）】当社では、離職率の低下を狙いとした既存の取組として、フレックスタイム制、出産・育児休暇制度を導入している（令和４年度までに、〇名の女性が本制度を活用）また、関係機関（農業会議・法人協会・稲作経営者部会）での勉強会に積極的な参加を促し、社内定例会で部門を超えた商品開発を行うなど、社内外での女性のネットワーク形成に注力している。その他、県内中学校・高校・農業大学校の就業体験や●●農政局から新人研修を受け入れている。【本事業を活用した取組の実施方針】　　○○会社では、○○年から、トマト生産の規模の拡大している。トマト生産管理部門では、トマトの生産から収穫を行っている。トマト生産管理部門の主に収穫にかかる業務においては、現在女性が活躍しており、これを踏まえて、今後のトマト生産の事業拡大にあたり、収穫期が人手不足になる。収穫〇人の女性を雇用したいと考えている。【具体的に実施する取組内容】・働きやすい環境の整備に向けた社内検討会及び社労士等専門家への相談　〇回・ハローワークへの求人情報の掲載　〇回（〇月～〇月）・○○県就農相談会への出展　〇回・女性の呼び込みに向けた農業体験会の開催　〇回・地域農業者との情報交換　〇回 | 【目標】農場見学〇件採用面接等〇件 |

（注）３の取組を踏まえ、５の目標の達成のために実施する取組内容を具体的に記載する。

５ 女性農業者確保の目標（注）

|  |  |
| --- | --- |
| 翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注） | 事業実施年度：　１人　事業実施翌年度：４人合計　　　　　　５人 |
| （女性農業者の新規確保人数の内訳）自営農業就業者　　　人、雇用就農者　　　３人、　アルバイト等　　２人 |

（注）本事業完了日の翌日から事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。

（参考）

|  |
| --- |
| **上記女性農業者確保の目標に係る女性の確保の計画**（第４の（１）「施設等確保の取組」の応募者のみ記載） |
| 【事業実施年度】（取組予定業務）トマトの生産管理（採用時期）　　令和５年12月（人数）　　　　１人 |
| 【事業実施翌年度】（取組予定業務）トマトの生産管理（採用時期）　　令和６年５月～10月（人数）　　　　４人 |

※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。

※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。